

# 週間漁海況情報 2023年第33号

令和5年8月15日発行

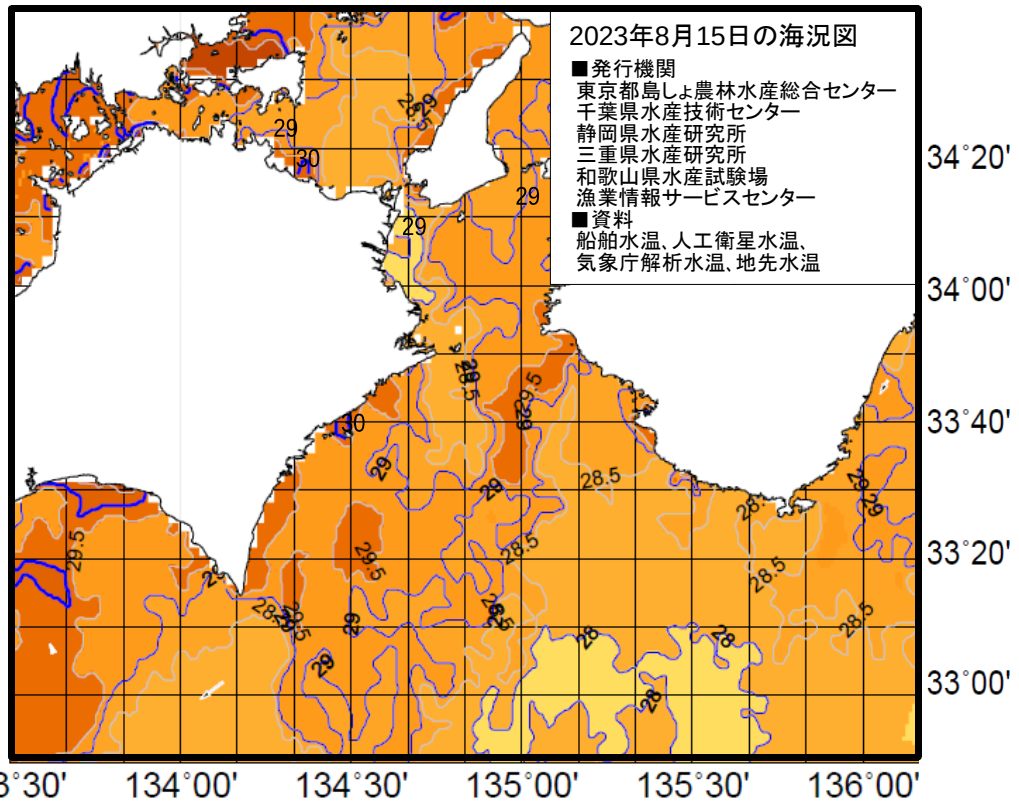
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖66マイル付近、潮岬沖106マイル付近を流れ、いずれも「著しく離岸」している。今後、四国沖では黒潮は近づくと予測されている。

黒潮の表面水温は28℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は28℃、紀伊水道は27～28℃台、海部沿岸は28～30℃台となっている。瀬戸内海の内湾や海部沿岸のごく一部では30℃を越える水域が見られる。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

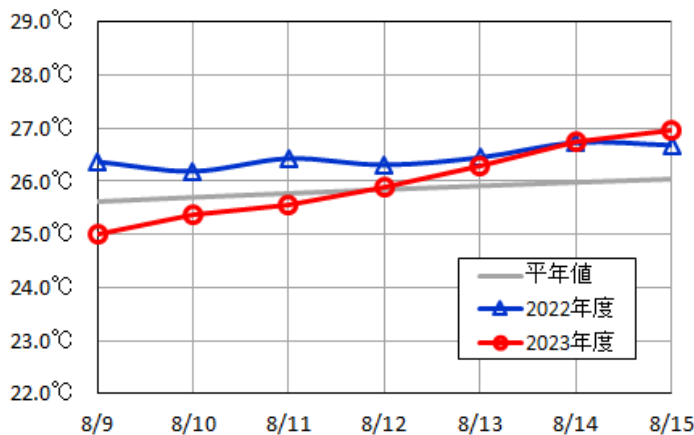
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

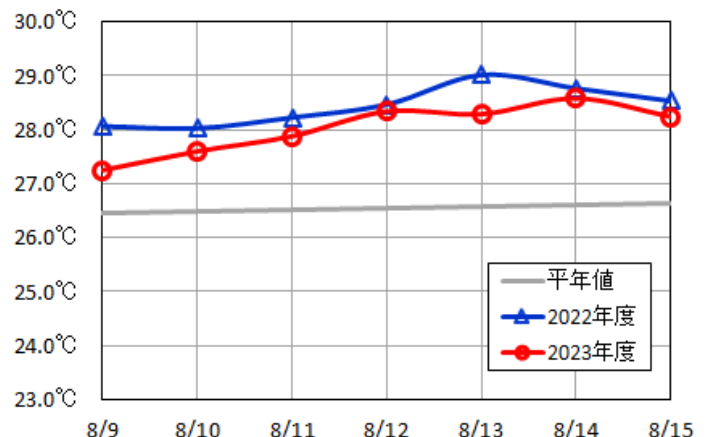
### 2. 地先水温(8月9日～8月15日)

鳴門地区の水温は、25.0～26.9℃で「やや低め」から「やや高め」、浅川地区は、27.2～28.5℃で「やや高め」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は1.2～2.4℃で、先週と比べて広がった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(鳴門)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(8月16日～8月22日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「高め」で推移する見込み。

**漁況** (8月7日～8月13日:一部漁協は、11日までの集計)

本週は、台風6号による荒天と盆の休漁のため、水揚げは極端に低調であった。

**1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)**

船びき網では、シラスが大きく減って9.3ト水揚げされた。  
 延縄では、ハモが大きく減って中主体に0.9ト、えそ類が減って0.1ト水揚げされた。  
 小型定置網では、マアジが豆あじ主体に0.9ト、ふえふきだい類が大きく増えて大主体に0.3ト、マダイが0.1ト、イサキが大きく減って0.1ト、ブリが大きく減って0.1ト、カワハギが大きく減って大主体に0.1ト、カンパチが大きく減って大主体に0.1ト水揚げされた。  
 底びき網では、ハモが大きく減って中主体に1.2ト、イボダイが減って小小主体に0.1ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)**

延縄では、ハモが大きく減って0.3ト水揚げされた。  
 小型定置網では、マアジが大きく減って豆あじ主体に0.1ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.05 トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	25	シラス	9,315	373		↓↓
	延縄	10	ハモ	896	90	中主体	↓↓
		5	えそ類	82	16		↓
	小型定置網	9	マアジ	943	105	豆あじ主体	→
		8	ふえふきだい類	280	35	大主体	↗↗
		9	マダイ	145	16		→
		7	イサキ	108	15		↓↓
		5	ブリ	94	19		↓↓
		9	カワハギ	80	9	大主体	↓↓
		4	カンパチ	55	14	大主体	↓↓
	底びき網	6	ハモ	1,154	192	中主体	↓↓
		6	イボダイ	65	11	小小主体	↓
海部	延縄	2	ハモ	298	149		↓↓
	小型定置網	1	マアジ	70	70	豆あじ主体	↓↓

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↓ 50%未満:↓↓